

平成 29 年 3 月 17 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 488 回 構造懇話会 平成 28 年度 例会のご案内

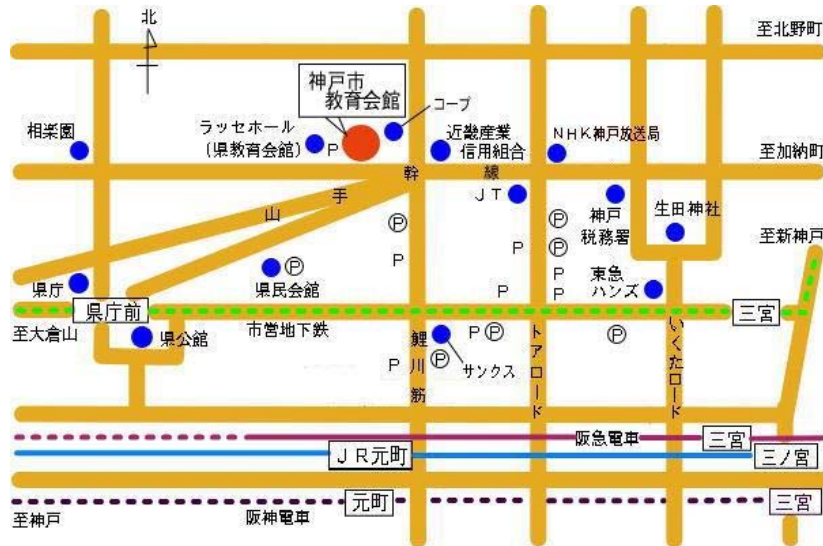
構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 28 年度例会を下記のとおり開催いたします。
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 29 年 4 月 18 日 (火) 13:15～17:00
2. 場 所 **神戸市教育会館 501 号室**
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111
3. 議 題
 - 1) 運営委員会 13:15～14:05
休憩 14:05～14:15
 - 2) 例会 ①部 14:15～15:10
『 鉄道営業線アンダーパス工事における
仮工事桁の構造変更に伴う対策と計測結果 』
阪急設計コンサルタント株式会社 室屋信彦 氏
休憩 15:10～15:20
 - 3) 例会 ②部 15:20～16:15
『 粘性型ダンパー「パワーダンパー」の開発について 』
株式会社横河ブリッジ橋梁営業本部東京営業第二部 主幹 永田 考 氏
休憩 16:15～16:25
 - 4) 第 3 回 50 周年記念事業WG 16:25～17:00

[連絡先] 〒760-0026 高松市磨屋町 3-1
大日本コンサルタント株式会社 西本 相忠
TEL : 087-811-0899 / FAX : 087-851-9311 / e-mail : nishimoto@ne-con.co.jp

[案内図]



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

第 486 回 構造懇話会 例会での報告概要

1. 『鉄道営業線アンダーパス工事における仮工事桁の構造変更に伴う対策と計測結果』

①報告者 阪急設計コンサルタント株式会社 室屋信彦

②報告内容

道路幅員27.0mの都市計画道路が、鉄道営業線をアンダーパスで横断する計画において、軌道の直下には5径間ボックスカルバート（以下、BC）を分割して築造する計画としている。営業線の軌道については工事桁にて列車荷重等を支持することとなるが、BCを分割施工する過程に併せて工事桁の構造も変化させる設計としたものの、施工の途中段階で設計にて想定し得なかった構造系となることが判明した。そこで、この時の構造系を解析し、対策方法を検討し、対策が機能しているどうかを確認するために計測を実施した。

本話題提供では、これらの経緯と、対策方法の効果及び計測の実施による検証などを発表するものである。

2. 『粘性型ダンパー「パワーダンパー」の開発について』

①報告者 株式会社横河ブリッジ橋梁営業本部東京営業第二部 主幹 永田 考

②報告内容

現在、既設橋梁に対する補修・補強の重要性がクローズアップされてきている。特に耐震性能に関しては、阪神・淡路大震災から東日本大震災、先の熊本地震などにより多くの橋梁が地震被害を受けており、その都度基準の見直しが成されている。

横河ブリッジでは既設橋梁の耐震性能を向上させるデバイスとして、様々なラインナップの開発を行ってきた。その中で、粘性型ダンパー「パワーダンパー」の開発について紹介する。パワーダンパーは支承部周辺に設置する耐震性能に優れた粘性型ダンパーである。地震時には内部の粘性オイルにより振動エネルギーを吸収し、上部構造のゆれを制御する。

本講演では、パワーダンパー開発に至る経緯や性能確認試験、実工事での施工例などの紹介を行う。